

【事務事業調査】

事務事業名	地域福祉活性化事業		予算科目コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 01-030103-0003-04-06-0
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担当 サブリーダー	社会福祉担当 吉葉 恵子	事業の分類 新規事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	町社会福祉協議会において策定された、「高根沢町地域福祉活動計画」で取組む①福祉マップ作成事業②福祉ネットワーク整備事業③地域の寄り合いの場(サロン)づくり事業④新しい公園づくり事業⑤ボランティアセンター設立事業⑥ファミリーサポートセンターの整備事業を円滑に推進するため、平成21年度セーフティネット支援地策事業費補助事業中の地域福祉活性化事業を導入し、近年減退しつつある地域力の強化を図っていく。さらに、町内の2地区をモデル地区として事業を展開し、他地区への推進の拠点とする。事業実施は町社会福祉協議会へ委託する。	高根沢町地域福祉活動計画を具現化するためには、地域のマンパワーの活用が重要であることから、専任の社会福祉士を中心に、阿中結社と北中結社に各1地区を選定し、重点的な地域活動を展開していく。その結果、2地区がモデル地区となつて、将来は全町で取組む足がかりとする。①②の事業推進の中で災害時要援護者マニュアルやマップ作成の基礎づくりが可能となる。
実績	・専任担当者を配置し、サロンの立ち上げ活動を行なっている。(平成21年度末で3ヶ所のサロンをモデルとして立ち上げ、地域が運営している。) ・サロンの立ち上げを中心に活動し、その際に困っている方の困難事例等の収集を行った。 ・困難事例については、毎月開催しているケア会議(包括支援センター、社会福祉協議会、民生児童委員、在宅介護支援センター、障害者生活支援センター)において情報の共有と役割分担を行なった。	・地域においてサロンが活発に運営されることにより、高齢者を含む多世代の参加が見込め地域の活性化につながる。 ・サロンの運営が進むと、相談したい方や困っている方への支援体制が必要となることから、困っている方の情報の共有やどのように支援するかなど役割分担が明確になっていく。 ・上高根沢地区、仁井田地区、駅東地区の3箇所にサロンを開設した。

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
より所の設置(サロン)、福祉ネットワークの立ち上げ	2地区	3地区	高根沢町地域福祉活動計画は平成20から平成24年までの5ヵ年事業であることから、この地域福祉活性化事業(2年間)を活用し地域活動の足がかりとする。

■事業費(計画)

細 節	金 額
1 委託料	3,200,000
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	3,200,000

■事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 委託料	2,271,000
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	2,271,000

■事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 委託料	1,603,349	社会福祉協議会委託(専任担当者賃金、消耗品)
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	1,603,349	

■事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		2,271,000	
	補正予算額		-667,000	
	流用額		0	
	予算現額		1,604,000	
決 算	決算額		1,603,349	
財 源	国庫支出金	1,500,000	778,000	補助率基準額の50%
	県支出金	750,000	389,000	補助率基準額の25%
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	2,250,000	1,167,000	
	差引(一般財源)	950,000	436,349	